

2024 年 9 月 19 日

各 位

株式会社 SBI 新生銀行
代表取締役社長 川島 克哉

プロジェクトアゴラへの参画について

当行は、国際決済銀行(BIS)、7つの中央銀行(フランス銀行(ユーロシステムを代表)、日本銀行、韓国銀行、メキシコ銀行、スイス国立銀行、イングランド銀行、ニューヨーク連邦準備銀行)、および国際金融協会(IIF)が進める「プロジェクトアゴラ」に参画します。

プロジェクトアゴラ(アゴラは、ギリシャ語で「市場」を意味します。以下「本プロジェクト」)は、トークン化によるクロスボーダー取引の機能性向上を目指し、上記機関と民間金融機関が協働するものです。

従来のクロスボーダー取引は、各国ごとの法律や規制、営業時間の違いや時差といった構造的課題や、同一の取引につき複数の金融機関が AML や本人確認等の類似の手続きを実施するなど、手続きの非効率性が課題となっています。

本プロジェクトは、BIS が提唱する統合台帳のコンセプトに基づき、現状のクロスボーダー取引の機能強化を目的に、官民で構築する柔軟性の高い金融プラットフォームを通じ、トークン化された中央銀行マネーとトークン化された民間銀行の預金をシームレスに取引する方法を検討します。本プロジェクトを通じ、中央銀行マネーと民間銀行預金の二層構造を維持したまま、金融システムの機能向上と、スマートコントラクトやプログラマビリティを活用した新しいソリューションが提供される可能性があり、クロスボーダー取引において、利便性の高いサービスを提供できることを目指しています。

当行は、本プロジェクトへの参画を通じ、クロスボーダー取引の抱える課題解決に寄与するとともに、顧客中心主義を徹底し、お客様に利便性の高いサービス提供に向けた取組を続けてまいります。

以 上

お問い合わせ先

SBI新生銀行 サステナビリティ&コミュニケーション統括部
報道機関のみなさま: SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp